



発行所
天理教祝梅分教会
千歳市祝梅 598
☎0123-29-2055
復刊第二十七号

六月 月次祭神殿講話

本日は六月の月次祭にご参拝くださり、ありがとうございます。

教祖百三十年祭の時に真柱様は「待つこととともに大切なこと

は、旬を外さないということであり、旬を外れて蒔いた種から

は、良い実りは期待できません。収穫の時期も同様であります。

早すぎて遅すぎてもせつかくの実りを台無しにしてしまいます。」

旬という言葉を辞書で調べると、「旬」とは自然の中でふつう

に育てた野菜や果物がとれる季節や、魚がたくさんとれる季節のこ

とで、食べ物によってその時期は違いますが、いちばんおいしくて

栄養もたっぷりです。

我々は病気や悩み事から旬を悟らせていただくことになるかと思

います。自分自身だけではなく家族の病気や悩み事もそうではないかと思えます。その旬を感じたならば、悟らせていただいたならば、親神様の思召や親心をしっかりと味わい成人へと歩ませていただきますしよう。

教祖伝を読ませていただくと、教祖の五十六歳から凡そ十年の間は、まことに容易ならぬみちがらであった。働き盛りの秀司も、娘盛りのこかんも、一日として、これは

と言う日もない中を、ひたすら、教祖の思召のまゝに素直に通った。こかんさまが、お母さん、もう、お米はありません。と、言うとき、教祖

は、「世界には、枕もとに食物を山ほど積んでも、食べるに食べられず、水も喉を越さんと言うて苦しんでいる人もある。そのことを思えば、わしらは結構や、水を飲めば水の味がする。親神様が結構にお与え

下されてある。」と、諭され、子達も、崩折れ勝ちな心を振り起して、教祖に従うた。と続いています。教祖は、今を喜びましょうと子供に今の喜びを教えているのです。

大和神社の一件の時、ふと、こかんが、行かなんたら宜かったのにと、呟やいた処、忽ち教祖の様子改まり、「不足言うのではない。後々の話の台である程に。」と、お言葉

があった。これも今喜ぶことの大切さを教えてくださっています。

身上や事情で悩み苦しんだとき、「節から芽が出る」ということ

の言葉に落ち着き励まされたことがあるでしょう。どんな辛いこと

や嫌なことでも結構と思うてすれば、天に届く理、神様に受け取ってくださいる理は結構に代えてくださるという教えにどれだけ励まされたかわかりません。

私達は、皆親神様の子供であり、皆兄弟姉妹です。そこには信仰しないからダメとか言うこと聞かないからダメではなく、共に幸せを感じれるよう助け合えるよう長い目で見なければと思います。

その時は苦勞と感ずることもあるかもしれません。しかし、先の楽しみを思い描き、親神様に真実を受け取っていただいた後は、お互い一粒万倍の御守護を味わいたいものです。

↓三年千日、各支部で5回開催されます

教祖140年祭

ようばく一斉活動日

ごあんない

立教186年(1866年)10月29日(日)

立教187年(1876年)6月1日(土)/6月2日(日)

立教188年(1887年)11月3日(日)/11月4日(月)

立教189年(1898年)5月31日(土)/6月1日(日)

立教188年(2028年)11月1日(土)/11月2日(日)

天理教教会本部

座談会

高橋 和志 さん
田端 貴志子 さん
高橋 多江子 さん



も少年会活動が活発に行われるようになりました。

【和志】私は桂沢ダムの夕張の少年会のキャンプの後くらいに、祝梅でも少年会をやったのではないかと記憶しています。最初は夕張の青年さんが祝梅に来てくれて練成会を始めたと思います。その後、木村明さんや河本真砂代さん（現、三木真砂代）武田幸子さんが推進してくれました。

当時は今と違って世の中に子供たちが楽しむ行事がなかったから、みんなが教会に来てくれて祝梅につながる一同が年に一度、会する感じで教会挙げての一大行事だったね。

【貴志子】本当そうだったよね。他に友達も参加してくれました。小学校の同級生が全員来てたからね。青葉中の時は自転車置き場のすべての自転車に練成会のパンフレットを置いて回ったことがありました。今だと怒られる気がしますが（笑）

【多江子】美津志会長さんはいつも、御本部や夕張大教会の思いに素直に添って行かれますよね。

だから何をやっても神様のお働きがあるんだなあ。と思います。

【和志】夕張の三十乃奥様の追悼集「理は働き続く」の中に美津志会長の文章があります。「三十乃奥様の少年会活動への情熱に感動し、自分が燃えない人も燃えないと実感した。その尊い教訓が祝梅若人会に脈々と受け継がれている」というくだりがあります。

【貴志子】そうだね。みんな燃えてた。若人会の会議は夜にやっていたけど、深夜まで議論が続き会長さんも心配するほどだったよね。

【和志】肝だめしの企画とかいるんなアイデアが出て白熱していたね。

【貴志子】そういえば墓地とかにも行ったね。今だと難しいかもしれないけど。車で輸送して墓地ま

で子供たちを連れて行ったよね。教会中みんなやっていました。

【多江子】それも練成会の何ヶ月も前から計画を立ててキャンプ場の整備をしたり、教会みんなが燃えていたよね。

でも、最近は子供の数も減ってきたことや低年齢化していることもあると思うんだけど、手や口を出しすぎてしまったかな…と、反省することがあります。

【和志】例えば子供が一人で大人が十人だったとしても、十人の大人がその一人の子供のために何ができるか一生懸命考えることが大切なんじゃないかな。

【多江子】そうですね。人数が多いとか少ないとかも関係ないし、一人ひとりの子のために何が出来るかをよく考えていくことが大切なんですよね。

【貴志子】練成会は美津志会長が単独布教時代に行っていた「めだか子供会」の精神が原点にあると

「今年も祝梅に夏が来ます。コロナで中止になった年もありました。が、夏と言えば練成会です。今回は練成会の思い出について高橋和志さん、田端貴志子さん、高橋多江子さんに語ってもらいました。

【多江子】練成会は祝梅分教会の六十周年の翌年昭和四十七年に第一回目が開催されました。今年で五十二回目になります。

美津志会長が教祖八十年祭の時に二代真柱様が「教祖百年祭に向けてようぼくの育成のために少年会活動を推進したい」とのお言葉を受けて少年会活動を始めようと思われたそうです。夕張大教会で

思う。終戦後空襲で家を焼かれ学校にも行けない子供たちに「何かしてやれないだろうか」と思い「めだか子供会」を始めたと聞かせてもらったことがあります。

【和志】練成会を始めた頃は子供が喜ぶ企画を注力していた感じはあったけど、当時は他に遊ぶところが少なかつたからね。最近は遊びの部分は他の所でもあるので今は練成会でやるべきことをやる方向に変換していると思う。おやさまの教えや「おつとめ」を体感してもらうことかな。

【多江子】それはスタッフ側の思いでもあるけれど、子供達自身も「おつとめ」にとっても興味を持ってきていたり、何かを感じてくれているように思います。子供達が楽しみながら、おつとめの練習や教えを学ぶことが出来るように工夫したいのですね。

【和志】それから、スタッフの言葉の中に教えが織り込まれていることを感じ取ってもらえると嬉し

いですね。すぐに子供に教えが伝わらなくても心のどこかに教えを刻み込む気持ちで子供に接しています。

【貴志子】私は少年会員の頃、教会にいたので、練成会の準備の大変さや、また楽しみながら進めていくスタッフさんの姿を目にしています。私も早くスタッフになって「子供たちといろいろなことをやりたいなあ。やらせてあげたいなあ。」と思っていました。そう思いながら気づけば私も五十代。「自分たちが子供たちを育てさせていただけじゃなくて、子供たちによって自分が育てていただいているんだなあ」と思います神様の深い思し召しを感じています。

【和志】そうだね。子供に教えを伝える活動の中に自分自身の成人のヒントがあるね。教えながら教えられると言うことだね。これは祝梅若人会独特の事かもしれないけど、子供だけでなくそれを取り巻く青年さんやひのきしんの方々

も皆が成人する練成会を志向していたように思います。

【多江子】練成会が教会の「おたすけの場」と、なっていますよね。その中で不思議な親神様のお働き、そして、おやさまのお導きをいただいているように思います。今年の練成会も熱い思いで「おたすけ」の渦を巻き起こしましょう。

—お話を聞かせていただきありがとうございます。ありがとうございました。

今年は8月6日（日）に夏季練成会を開催させていただきます。互いに喜びを分かち合って盛大な練成会にしたいと思っております。

お道の後継者育成の上からも、少年会員・育成係の呼びかけのご協力をよろしく願いいたします。

若人会 委員長 伊藤伸幸

SYUKUBAI WAKOUDOKAI

第52回 夏季練成会

時間 12:30-15:30 受付12:00-

場所 祝梅分教会 育ちの広場

対象 中学生まで 高校生以上は副成会員を希望します

持ち物 マスク、帽子、タオル

座りつとめ練習、講話、課外活動、ひのきしん、etc...

参加部 100円

2023.08.06.SUN

お問い合わせ 天理教祝梅分教会 若人会役員 公式LINE、またはお電話ください TEL 0123-29-2055 祝梅分教会 公式LINE

※新型コロナウイルス感染症は5類に移行しましたが、参加される方は基本的な対策をお願いします。また雨の場合は、室内での開催となります。

『神の恩』

◎人並みに成人できたのは
親のお陰、人のお陰、社会のお陰と
受けた恩を大切にすることでよい友人なのに

◎なぜか、この世の万物を生かし
昼夜の別なく人間の身の内を守護する
神の働きの大きな恩がわからない。

◎あるとき、この友人に親の恩、人の恩と
受けた恩に感謝できるのは
神に今ここに生かされている
生命があるからこそできるのだと話した。

◎神の恵みあってのそれぞれの恩である。



布教の家週報録より

五月二十日

愛知寮 高橋悟志

親神様、教祖、日々は結構にお連れ通りい
ただき誠にありがとうございます。名古屋は
暑い日が続いております。心定めた軒数を
達成するため、毎日コツコツ勇んで通らせて
いただいております。通い先も少しずつでき始
め、にをいがけ・おたすけに充実した日々を
過ごさせていただいております。

最近、路傍講演をするのがマイブームで
す。近くの交差点で天理教教典 第三章 元の
理のお話をさせていただいております。これ
をすることでひと月とても勇んで通れます。皆
様も体調にお気をつけて、お勇みください。
ありがとうございました。



夕張支部 婦人会より

この度、六月二十七日に天理教
婦人会夕張支部長が交代されまし
た。七月二十二日の夕張支部婦人
会総会は支部長が交代の記念の総
会となります。

藤田美重子支部長様に今までお
育ていただいたお礼申し上げ、こ
れからは新しく支部長になられた
藤田美由紀奥様に心を添わせてい
ただきながら、おやさまのひなが
たを辿らせていただきましょう。

あとがき

練成会の活動目標は「自然の中
で親神様のお働きを感じ取るう」
です。この祝梅の恵まれた自然を
生かし、自然の姿から、世界、宇
宙までも親神様の御守護で溢れて
いる事を感じて欲しい。

そして更には「成ってくるのは
天の理」自然に成ってきた事の中
に親神様の深い親心があることを
感じて欲しい。そして誰よりも
ず、自分がそこに近づかなくては
なりませんね。



Instagram
布教の家
愛知寮 73 期